



津田小だより

松江市立津田小学校
令和8年6月17日
校長 小林 敏朗

5月中旬のことです。1年生児童が下校中に転んで顔をケガしました。すると、血だらけになった姿を見て、近くを通りかかった地域の方が車を止め、児童の介抱と本校への電話連絡をしてくださいました。すぐに学校でも対応するとともに、夕方その介抱して下さった方にお礼の電話連絡をいたしました。後日、この方からお手紙をいただきました。そのお手紙には、見知らぬおばさんが不審者に思われぬか不安だったこと、それでもいてもたってもいられず子どもに声をかけたこと、学校の一生懸命な姿に感動したことなどが綴ってありました。そして、お手紙の最後に「いつでも子どもたちの味方です。これからも子どもたちのことをよろしくお願いします。」と書いてありました。改めてこの方に感謝の気持ちでいっぱいになるとともに、学校として「しっかりやらねば」という思いで何度もお手紙を拝読いたしました。この方に限らず、いろいろな時間帯、場所、場面で地域の皆様には大変お世話になっております。学校もしっかりと取り組みます。今後もよろしくお願いします。

みんながんばりました！津田っ子大運動会！

5月30日（土）に津田っ子大運動会を行いました。当日は晴天に恵まれ、スローガン「一致団結！津田っ子の力でフルパワー バトンをうけつぎ1位のとびらへ」のもと、津田っ子は当日までの練習や準備の成果を精いっぱい発揮しました。



選手宣誓



準備運動



応援合戦(緑)



応援合戦(青)



応援合戦(赤)



応援合戦(黄)



3年生学年種目



1年生学年種目



2年生学年種目



4年生学年種目



5年生学年種目



6年生学年種目



色別対抗玉入れ



色別対抗綱引き



色別対抗リレー

運動会当日の子どもたちの動き、当日までの取り組みを見ながら、いつも思うことですが、子どもたちの成長にとって「憧れをもつこと」「ふりかえりをすること」の2つはとても大きな意味があるなとつくづく思います。

まずは「憧れをもつこと」について。今回の運動会で言うと、6年生の学年種目の時には5年生の子どもたちが応援旗を振り、1～4年生の子どもたちに指示を出して、大きな声で応援していたことがありました。また、4～6年生の色別対抗綱引きの際には、3年生の子どもたちが同様のことをしていました。テントの前に立ち応援旗を振っていた子どもたちは、これまでの色別会での6年生の姿を見ながら憧れをもっていただけだと思います。「かっこいいな!」「ぼくも旗を振りたい!」「私もリーダーをやりたい!」というような思いをもっていただけでしょう。先日(6/5)本校で行われた松江市総合教育会議でも、上定松江市長さんから市内中学校のあるボランティア活動(小学生に教える活動)を例にして憧れをもつことについてお話がありました。そのお話は中学生のボランティア希望者があまりに多くて断っているということでした。本校の多くの卒業生が進学する松江四中の生徒さんが地域の行事に積極的に参加していることも同じです。少し年上の先輩の姿を見て「こういうふうになりたい」「数年後にはチャレンジしたい」と憧れをもつことが成長につながるとつくづく感じました。



5年生のリーダー



3年生のリーダー

もう一つの「ふりかえりをすること」について。以前読んだ本に「人は経験ただけでは成長しない。経験し、経験したことをふりかえることによって成長する」ということが書いてありました。つまり、経験し、ふりかえり(内省・リフレクション)をして、次の経験に生かすことを通して、人は成長するということです。今回の運動会では、閉会式の後、各色でふりかえりをしていました。6年生が1～5年生に語ったり、感謝の気持ちを伝えたり、1～5年生は6年生に「よくやったコール」をしたり、とても素敵な時間だなと思いました。また翌週の火曜日には、各学級でもふりかえりが行われていました。子どもたち一人一人がふりかえりをしてプリントにまとめたり、まとめたことをみんなに発表したりしていました。5年生のクラスでは、「運動会でゲットした力」について話し合い、まとめたものを掲示していました。6年生のあるクラスでは「運動会で身につけた力」を考えることを通して、ふりかえりをしました。これらのふりかえりをしたことが、次の活動や学習、学校生活につながっていくといいなと思います。このふりかえりは運動会だけでなく、日々の学習におけるふり

かえりも同じです。自分はこの時間に何を学んだのか、何がわかったのか、どんな課題や疑問が残ったのかなどふりかえることはとても大事です。今後も、教育活動全体でふりかえりを大切にしながら、子どもたち一人一人の成長を促していきたいと考えています。



緑組のふりかえり



赤組のふりかえり



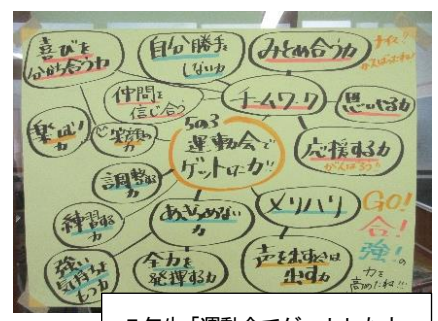
青組のふりかえり



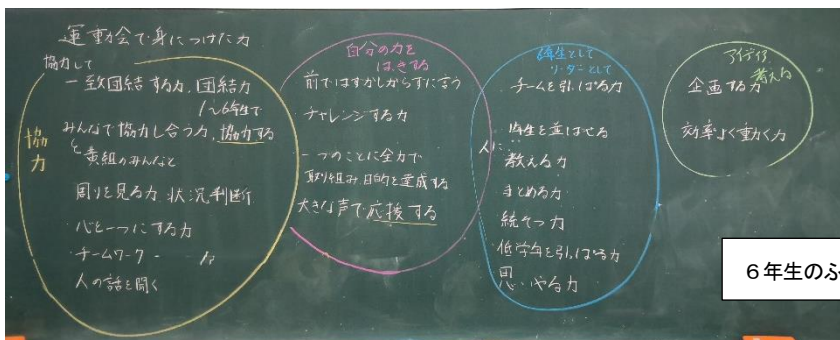
黄組のふりかえり



4年生のふりかえり



5年生「運動会でゲットした力」



6年生のふりかえり「運動会で身につけた力」

「憧れをもつこと」「ふりかえりをする事」についてお伝えしましたが、子どもたちががんばったからこそ、一生懸命に取り組んだからこそ、このようなことがお伝えできるとと思います。子どもたちのがんばり、取り組みに大きな、大きな、大きな拍手です!!

最後になりましたが、運動会当日、保護者の皆様には朝から子どもたちにあたたかいご声援や拍手を送っていただき、ありがとうございました。また、前日や当日朝の準備、そして終了後の片付けをお手伝いいただきました PTA 役員、保護者ボランティアのみなさま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

「ローテーション道徳」の取り組み

昨年度は2学期以降、学年部を中心に学年全体で学年の子どもたちを育てていこう、支えていこうという取り組みの一つとして「ローテーション道徳」に取り組んできました。具体的には、学年部の教員が自分の担任学級だけではなく、同じ学年の違う学級に行き道徳の授業をするという取り組みです。これは主に次のようなことを目的としています。

○道徳の授業を通して、多くの教員の目で子どもたちをしっかりと見つめ、児童理解を深め、指導

や支援に生かす。

- ・一人一人の子どもたちのよさや課題など、多くの教員の目で多面的、多角的にとらえ、今後の指導や支援に生かす。

○子どもたちが教員の誰にでも話しやすくなったり、心配なことや悩みなどを相談しやすくなったりできるよう担任以外の教員とも人間関係を深める。

今年度は今月、2年部から始まりました。学年によっては校外学習やそのほかの活動や学習の予定があり、全校で一斉スタートはなかなか難しい状況ではあります。昨日2年生教室に行ってみると、自分の担任学級ではないクラスで、それぞれ道徳の授業（それぞれが違う題材の授業）をしていました。子どもたちの様子を見ていますと、全体的にいつも以上に意欲的に取り組んでいる印象をもちました。真剣に考えている子、考えたことをしっかりとプリントに書いている子、積極的に発表している子など、素敵な姿がたくさん見られました。

これからもローテーション道徳に継続的に取り組んでいきます。学年部の多くの目で子どもたち一人一人を見つめ、しっかりとよさを伸ばし、成長を支えていきたいと考えています。

